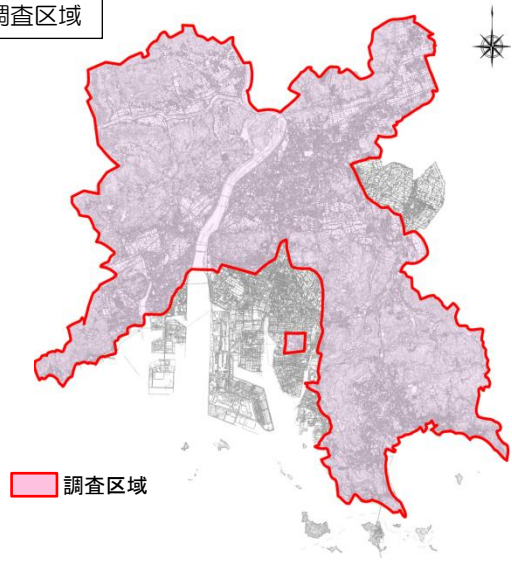


倉敷市宅地耐震化推進事業

近年の大地震において、谷や沢を埋めた造成宅地又は傾斜地盤上に腹付けした大規模な造成宅地では、造成宅地における崖崩れ又は土砂の流出による被害が発生しています。

このような大地震等による大規模盛土造成地の滑動崩落への対策を進めるため、平成28年度より、市域のうち、大規模な埋立地や干拓地を除いた区域について、大規模盛土造成地の有無等の調査を行います。

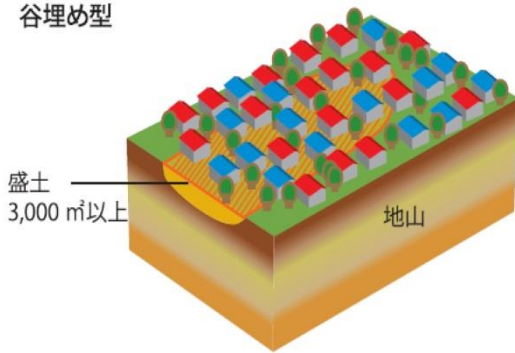
調査区域



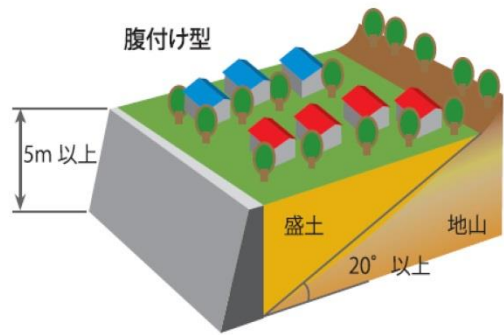
調査区域

大規模盛土造成地とは

- 1) 谷埋め型大規模盛土造成地
盛土の面積が3,000㎡以上
谷埋め型



- 2) 腹付け型大規模盛土造成地
盛土する前の地盤面の水平面に対する角度が20度以上で、かつ、盛土の高さが5m以上



出典：国土交通省ホームページ

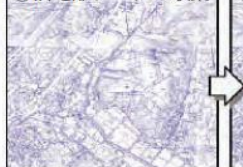
大規模盛土造成地の有無等の調査方法

大規模盛土造成地の有無等の調査は、主に造成前後の航空写真や地図などを重ね合わせるにより行います。

①現地形データの収集



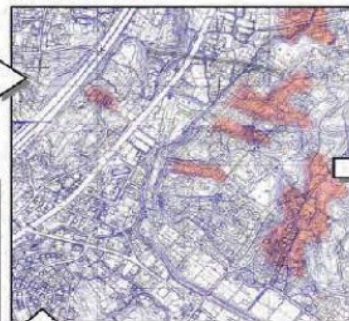
②旧地形データの収集



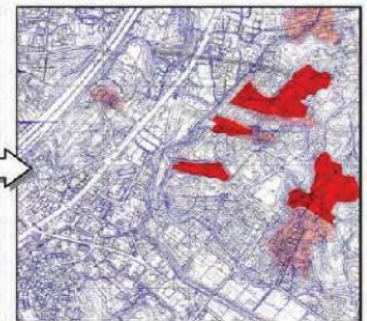
③谷地形の把握



④重ね合わせ作業



⑤大規模盛土造成地の位置の把握



※ ■ 箇所が大規模盛土造成地の範囲

出典：国土交通省ホームページ